

地域日本語教育のための 専門人材研修プログラム

日本語教師 × 日本語学習支援者 それぞれの経験を、地域の力に！

栃木県内の外国人住民は、令和7年12月末現在で6万人を超え、過去最多となっています。外国人住民が地域社会で円滑に、そして自分らしく暮らしていくためには、日本語によるコミュニケーションを支える環境が欠かせません。

本研修は、日本語教育の専門的な知識・経験を持つ日本語教師と、地域の日本語教室で豊富な実践経験を持つ日本語学習支援者を専門人材と位置づけ、生活者としての外国人住民に対する日本語教育の考え方や実践の方法について学び、多様なニーズのある地域日本語教育の充実に貢献したい方の育成を目的としています。

対象（受講要件は裏面に記載） ※原則として全5回出席できる方

県内において、生活者としての外国人のための日本語教育の充実に関心を持つ日本語教師や日本語学習支援者

※現在の就業状況は問いません。

日程（プログラム内容は裏面に記載）

2026

2027

12.19(土) 1.9(土) 1.23(土) 2.6(土) 2.20(土)

全5回 13:30～16:30

会場 とちぎ国際交流センター（宇都宮市本町9-14）

参加費 無料

定員 15名程度

お申込みはこちら→



<https://forms.gle/Z8ALfcj4kcyepUJk8>

・受講者には受講証明書を発行します

・ご希望の方には、情報交換等を目的とした栃木県国際交流協会（TIA）の「栃木県地域日本語教育専門人材」として登録できます

申込期限 2026年12月5日（土）

公益財団法人 栃木県国際交流協会（TIA）

お気軽にお問合せください！

〒320-0033

栃木県宇都宮市本町9-14

とちぎ国際交流センター内

火～土 9:00～17:00

TEL 028-621-0777
nihongo@tia21.or.jp

地域日本語教育のための専門人材研修プログラム

回	日時	時間	内容	担当講師 (敬称略)
1	2026 12月19日(土)	13:30-16:30	・共生社会における「生活者のための日本語教育」 ・対話型活動体験	萬浪絵理
2	2027 1月9日(土)	13:30-16:30	・言語教育の目的と実践、「日本語教育の参照枠」 の活用等(講師のみオンライン) ・対話型活動の活動案作成	奥村三菜子 西山陽子
3	1月23日(土)	13:30-16:30	・生活者向け学習教材・学習活動、第二言語習得 ・対話型活動の実践①	西山陽子
4	2月6日(土)	13:30-16:30	・日本語教室活動を通じた相互理解 ・他地域の事例紹介 ・対話型活動の実践②	萬浪絵理
5	2月20日(土)	13:30-16:30	栃木県のためのこれからの実践	萬浪絵理 西山陽子

課題図書 第二言語習得に関する専門書1冊(2,000円程度) 書名等は、ご受講者に事前に案内します

対象(受講要件) 県内において、生活者としての外国人のための日本語教育の充実に関心のある**日本語教師(※1)**または、**日本語学習支援者(※2)**<経験、地域性を考慮に書類選考を行います>

- (※1) 日本語教師の場合は、次の①と②を満たすもの
 - ① 次のいずれかに該当する者
 - ・大学または大学院において日本語教育に関する課程を履修し修了した者
 - ・日本語教育能力検定試験に合格した者
 - ・日本語教育に関する研修として適当と認められるものを420単位時間以上受講し修了した者
 - ・文部科学省登録日本語教員
 - ② 日本語教育現場での一定の実務経験を有する者
日本語教育機関、地域日本語教室等において、有償、無償に関わらず1年以上の経験を有すること(教育実習や研修、1対1の指導の経験は除く)
- (※2) 日本語学習支援者の場合は、地域における日本語教室において支援者としての経験が3年以上かつ教室運営等のリーダー経験が1年以上ある者

講師プロフィール(五十音順)

- 奥村三菜子 氏** NPO法人YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち 副理事 《オンライン登壇》
1990年代から海外の市民講座や大学等で日本語教育に携わる。2013年より国内の大学、専門学校、地域日本語教室等で日本語教育を行うと共に、日本語教師研修やボランティア研修の講師を多数務める。2022~24年まで文科省委託「日本語教育の参照枠」を活用した教育モデル開発・普及事業の委員。
- 西山陽子 氏** NPO法人国際活動市民中心(CINGA) 日本語教育コーディネーター
CINGAの地域日本語研究チームにおいて、生活者としての外国人を対象とした日本語教育をはじめ、地域日本語教育の事業や実践研究に携わる。留学生、難民ルーツ、企業で働くエンジニア等、さまざまな背景・目的をもつ人々の日本語学習に携わってきた。文部科学省「つながるひろがる にほんごでのくらし(つなひろ)」コンテンツ作成チームメンバー。
- 萬浪絵理 氏** NPO法人国際活動市民中心(CINGA) 日本語教育コーディネーター／理事
CINGAにおける文部科学省委託日本語教育事業のほか、千葉市国際交流協会にて日本語クラスの企画・運営、教材 開発、人材育成研修など、地域日本語教育の体制整備に従事。多文化社会専門職機構認定多文化社会コーディネーター。各地で日本語教師や学習支援者研修の講師を務める。